



会員レポート 「JSCA千葉 第10回総会、報告書」

（一面からの続き）

総会に引続き、午後3時より同会場にて今年3月に千葉大学を退官された森田耕次千葉大学工学部名誉教授をお迎えし、「最近の建築溶接の話題」というテーマで森田先生の研究成果を振り返っていただき、参加者にわかり易い内容でご講演をいただきました。85名を超える大勢の参加を頂きました。講演最後の質疑応答では、確認審査に関する建築基準法の改正に伴う「適合性判定システム」に関しての先生のご意見をいただいたり、溶接部の裏はつりが一般的に利用されないのはなぜか、エネルギー法に基づく梁、柱降伏メカニズムの推定に基づく建物性状把握に際し、溶接部、及びその周辺の物性、挙動の推定、把握は重要であること、ダイアフラムが梁フランジの2サイズアップという運用がされていますが先生はどうお考えでしょうか、などの質問、意見が投げかけられ、活発な意見交換がされました。先生のお人柄が醸し出す暖かい雰囲気での講演会となりました。

森田先生には、今後も千葉県耐震判定協議会にて、鉄骨系の構造審査委員長としてご活躍いただくと共に、JSCA・千葉の学術委員として私たちJSCA会員との協働を更に推し進めるべくご協力を賜りたいと存じます。

森田先生の特別講演会の後、午後5時より懇親会が開催され、千葉県及び千葉市を含む行政の方々、関連団体の委員長、代表の方々、協力会員の方々、千葉県鉄骨工業会の方々、千葉職業能力短期大学の方々、千葉県建設技術センターの方々、千葉県耐震判定協議会の方々、JSCA本部から専務理事、日刊建設新聞、NHK千葉の報道の方々など多くの参加をいただきました。

JSCA・千葉の齋藤代表より、姉齒事件以降建築基準法の見直しが急がれ、今年の6月20日以降

会員委員会定期便

親睦旅行を計画しています。ふるってご参加ください。（しまった、締め切りは12月17日でした。でも空きがあれば）
平成20年1月27日 かんぼの宿 潮来、現地集合17:00。1月28日10:00解散、¥15,000。前日ゴルフあり。連絡先043-277-5005（明智・斉藤・鈴木）

大きく建築確認審査が変わるに際し、構造設計者の作業内容が増え、作業時間、業務量が増えることから、設計料についても正当な評価を頂かなければならない状況にあること。更に適合性審査機関へのJSCA・千葉の協力により、さらに忙しい時間を過ごさざるを得ない状況にあること。もう少し法律ではなく、構造設計者、建築構造士の行為への自主性と信頼が得られるべきであり、そのようになるように会員の研鑽に努力することなどが挨拶の話題として述べられました。

来賓のご挨拶においては、千葉県建築士会の会長に前日就任されました青柳英俊様が、本席でのご挨拶が千葉県建築士会会長としての対外的業務の最初であるとのお話を頂き、強く印象に残りました。森田先生も講演の後ご出席を頂き、会員をはじめ、出席の方々との楽しい意見交換の時間を作っていただきました。約2時間の懇親会は出席の皆様の楽しい意見交換の場としてあっという間にお開きとなってしまいました。お忙しい中、貴重なお時間を割いてご出席いただきましたこと、JSCA・千葉会員一同心より御礼申し上げます。



懇親会にて